

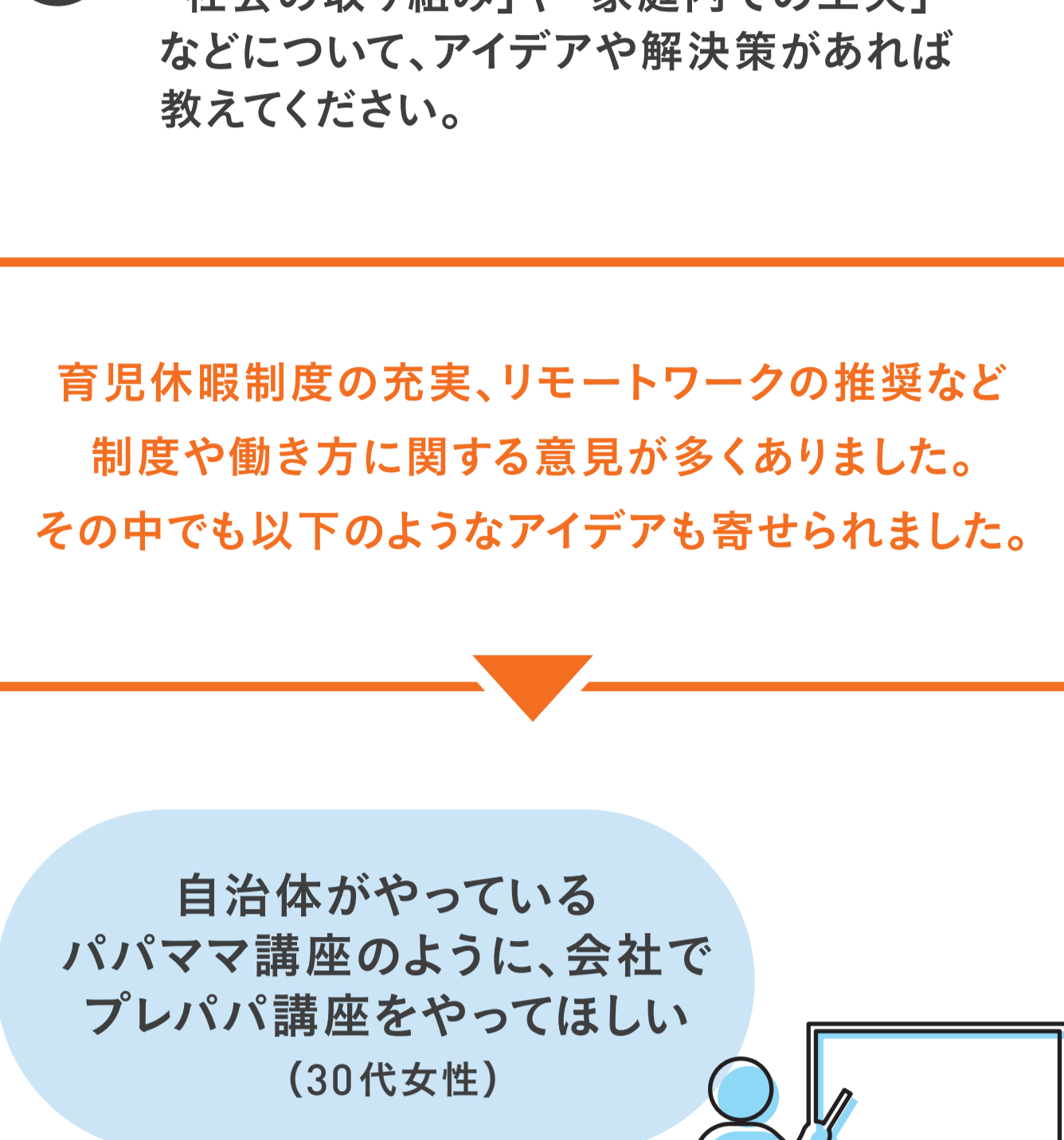
男性の子育てについてのアンケート

今回は男性の子育てについてお聞きしました。

調査結果

男性の育児

Q1 男性が育児を行うときに、ハードルとなることは何だと思えますか？(複数回答可)



Q2 男性が、育児により関心を持つような「社会の取り組み」や「家庭内での工夫」などについて、アイデアや解決策があれば教えてください。

育児休暇制度の充実、リモートワークの推奨など制度や働き方に関する意見が多くありました。その中でも以下のようなアイデアも寄せられました。

自治体がやっているパパママ講座のように、会社でプレパパ講座をやってほしい (30代女性)

外出先で赤ちゃんを連れてきた男性のみでも入れる休憩室や授乳室の設置 (20代以下女性)

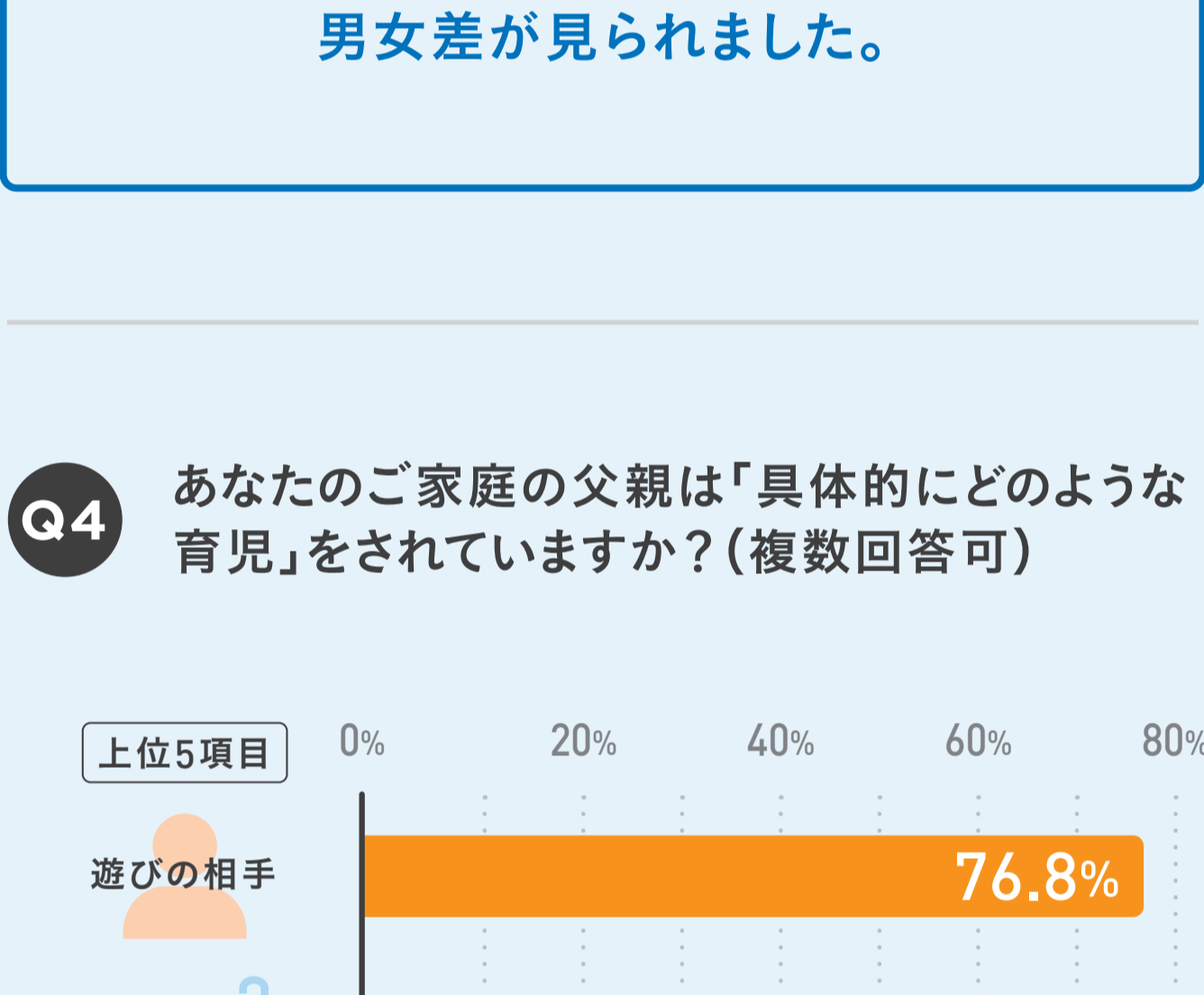
育児ポイントなどを企業が設ける (30代男性)

家庭内にホワイトボードを置いて、子どもや家事に関するやることリスト、気になってることリストを書き出して共有 (30代女性)

メディアなどで父親の育児を具体的に紹介してほしい (40代女性)

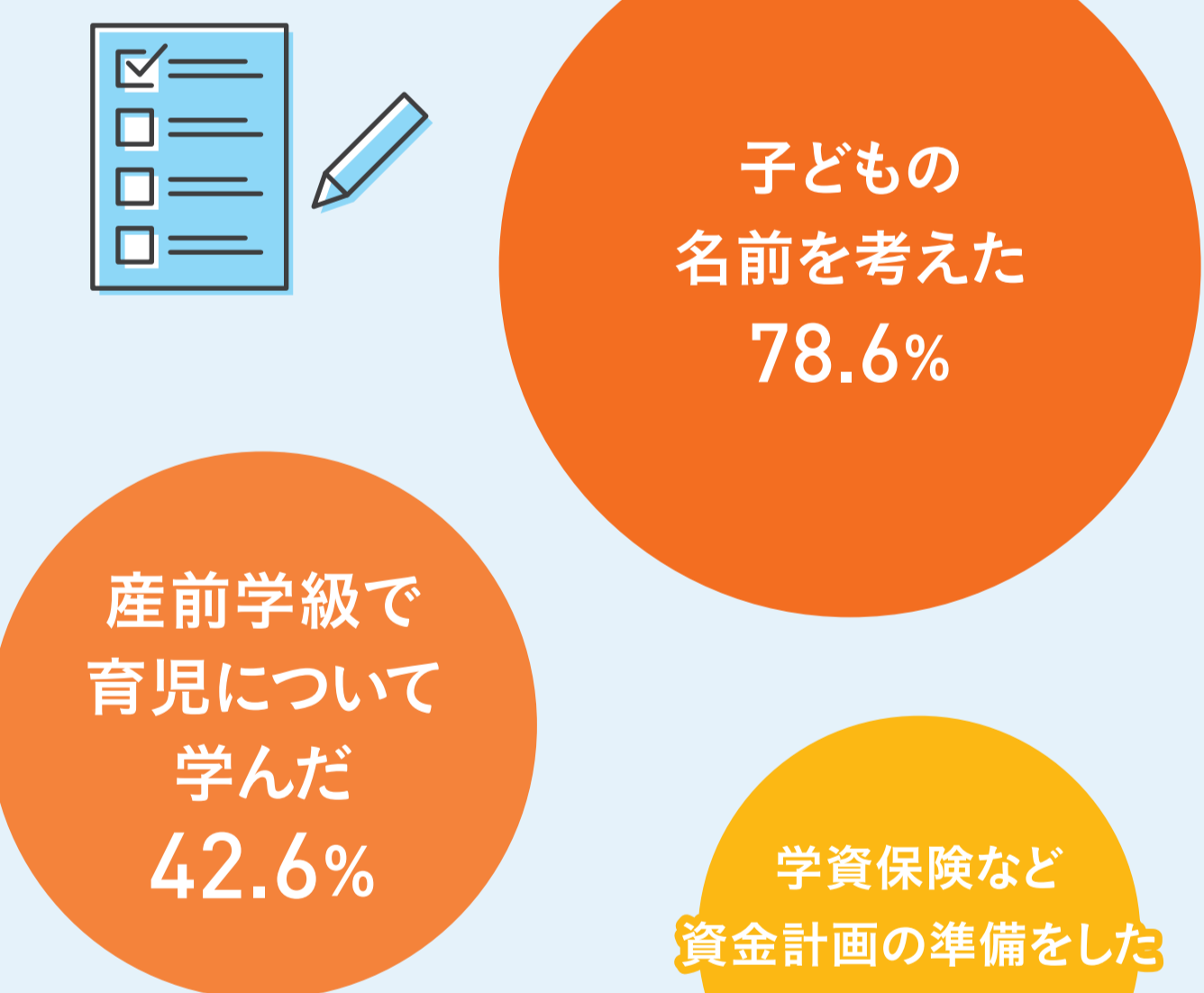
育児への関わり具合

Q3 あなたのご家庭の父親の「育児への関わり具合」を選んでください。(父親の方はご自身についてお答えください)

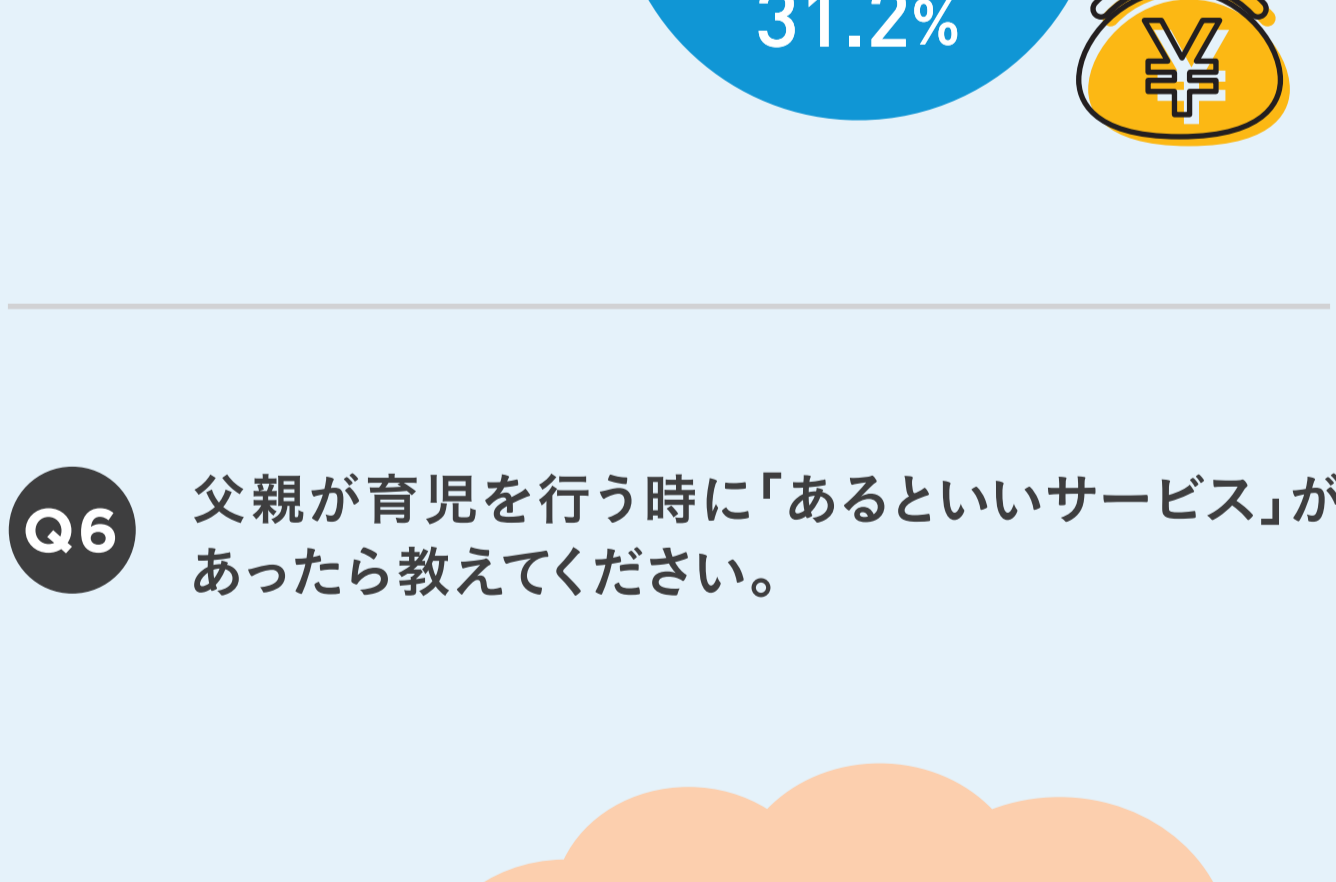


男性の半数以上が育児に関心が高く、積極的に育児を行っているという結果でした。しかし、女性では4割に留まる結果となり、男女差が見られました。

Q4 あなたのご家庭の父親は「具体的にどのような育児」をされていますか？(複数回答可)



Q5 あなたのご家庭の父親が、「お子さまの誕生前に行ったこと」を選んでください。(複数回答可)(父親の方はご自身についてお答えください。)



Q6 父親が育児を行う時に「あるといいサービス」があったら教えてください。

栄養バランスがよく、月齢やアレルギーを配慮したご飯を作ってくれるサービス (30代男性)

保育園、病院などに男性スタッフがいると話しやすい (30代男性)

父親を温かく見る目 (30代男性)

子どもがなぜ泣いているか教えてくれるサービス (40代男性)

子どもと一緒に楽しめる場所。公園くらいしか浮かばない (40代男性)

! 小児IC運賃全区間一律50円



お出かけをするなら小田急線で!

小田急電鉄では、子育てしやすい沿線環境の実現に向け、2022年3月12日(土)より、小田急線の小児IC普通旅客運賃を全区間一律運賃50円に改定いたします。観光地やレジャー施設など、小田急線沿線のお出かけスポットにお子さんと一緒に出かけしてみたいいかがでしょうか。